

平成 27 年 12 月 10 日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

・庁舎内の配置換え及び各出張所の活用について

～内容～

- ・配置換えの目的 「こども」に関する部署を1か所に集約するため。あわせて、各出張所の有効活用を図るとともに、本庁舎1階が狭い状態を解消するため。
- ・配置換え案①
 - ①保健センターの3階にある教育委員会を西庁舎の1階へ移転
 - ②本庁舎1階のこども課を西庁舎1階へ移転
 - ③西庁舎1階の建設部を、全て西庁舎の2階へ移転
 - ④西庁舎2階の産業部を山手出張所へ移転
 - ⑤西庁舎2階の吉備路マラソン推進室を、保健センター3階へ移転
 - ⑥環境課を清音出張所に移し、環境水道部を1か所に集約
- ・配置換え案②
 - ①保健センターの3階にある教育委員会を西庁舎の1階へ移転
 - ②本庁舎1階のこども課を同じ西庁舎1階へ移転
 - ③西庁舎2階の商工観光課、そうじゃ吉備路マラソン推進室を山手出張所へ移転
 - ④西庁舎2階の企業誘致対策室、農林課、農業委員会、森林組合を保健センター3階へ移転
 - ⑤西庁舎1階の建設部を、全て西庁舎の2階へ移転
 - ⑥環境課を清音出張所に移し、環境水道部を1か所に集約

※配置換え案②は、所管事務調査の中で、案①の代替案として当局から提案されたもの

～結果～

次のような質疑・自由討議の結果、産業建設委員会として、案②で了承した。「ただし、本庁舎建て替え後は、山手、清音出張所に配置されていた市長部局は、新庁舎に戻す。また、その時には、山手、清音出張所は有効活用する」とした。

～質疑～

問：環境課が清音出張所に移り、空いたスペースにこども夢づくり課が移る案はなかったのか。

答：こども夢づくり課を本庁の1階に移すことも検討したが、こども課、こども夢づくり課、学校教育課、庶務課が同じ1階のフロアのほうが、より連携が取れると考えた。

問：市民の窓口が少ない文化課を山手出張所に移すのはどうか。

答：山手まちづくり協議会からの要望に応えるため、商工観光課の配置換えを考えている。

問：商工観光課が山手出張所に移ることで、不具合はないのか。

答：観光をメインに考えれば、メリットが大きい。

問：庁舎が狭隘なら、庁舎の建て替えを考えてはどうか。

答：今後、10年間では着工していきたい。

問：新庁舎建設後は、環境水道部等、出張所に配置された部署はどうするのか。

答：新しい本庁舎に戻す。

～自由討議での委員からの意見～

意見：新庁舎を建てるのが前提で、狭隘を理由に配置換えするのなら構わない。